

近世城郭における保存と観光活用に関する研究
 ～城郭の特徴と観光客数の変化に着目して～

A Study on Preservation and Utilization of Castles Built in the Early Modern Period

～ Focusing on the Relationship between the Form of the Castle and the Number of Tourists ～

○平岡美咲¹, 山中新太郎²

*Misaki Hiraoka¹, Shintaro Yamanaka²

The castle is not only preserved as a cultural asset of the country, but also a sightseeing spot. Therefore, a sightseeing plan combining preservation and utilization is necessary. By comparing the characteristics of the castle with the number of tourists, this paper clarifies the tendency of the castle with many tourists. The conditions of the castle with many tourists are that it is in the flatland, the scale is large, the reproducibility of the castle tower is high, the historical value is high.

1. 序論

1-1. 研究の背景と目的

城郭は国指定文化財として保存されている一方で国内外から多くの人々が訪れる観光地にもなっている。さらに文化庁が文化遺産を観光振興や地域活性化に活用する方針^{[1][2]}を定めたこと、さまざまなメディアで取り上げられる機会が増加したことが要因となり全国的に観光客数が増加している。このような状況の中、多くの観光客を想定していなかった城郭では観光設備の整備が不十分で、急激に増加した観光客に対応できていない。今後さらに文化遺産を観光振興や地域活性化に活用するために、文化遺産の保存と活用を両立させる観光計画が必要となる。

本研究では、城郭ごとの観光計画や観光客数を比較・考察し、城郭の保存と観光活用の両立を可能にする観光計画につながる知見を得ることを目的とする。

1-2. 本研究の位置づけ

これまで近世城郭に関する研究は多岐にわたって行われており、中でも歴史的視点の研究が主であった。城郭の観光についてバリアフリーやボランティアガイドに関する研究、城下町の観光振興・地域活性化に関する研究がみられたが、城郭内の観光についてはみられなかった。本研究では複数の城郭を対象として城郭内の観光について分析を行うものとする。

1-3. 研究対象と方法

保存と観光活用の両方に着目するため、全国城郭管理者協議会に加盟している城郭 49 城のうち日本城郭協会が定める日本 100 名城に指定されている城を対象

とし、城郭の特徴と観光客数の比較分析を行う。なお、熊本城は補修工事中のため分析から除外する。

城郭をその特徴ごとに類型化し観光客数の関係を分析することで、どのような城郭に観光客が多いのかを明らかにする。城郭の立地、曲輪の形式、天守の種類、天守の構成、国指定文化財の数を分析項目とし、観光客数をクロス集計分析する。

Tab. 1 研究対象の城郭一覧

(参考文献[3][4][5][6][7]をもとに筆者作成)

No.	城郭	曲輪の形式		天守		文化財		入場者数
		形式	構成	天守	その他			
1	弘前城	平山城	梯郭式	現存	独立式	重文	8	384,067
2	若松城	平山城	梯郭式	外観復元	独立式		0	584,094
3	小田原城	平山城	輪郭式	復興	複合式		0	775,406
4	松本城	平城	連郭梯郭式	現存	複合連結式	国宝	0	990,373
5	丸岡城	平山城	連郭式	現存	独立式	重文	0	154,877
6	掛川城	平山城	梯郭式	復元	複合式		1	140,975
7	岡崎城	平山城	梯郭式	復興	複合連結式		0	211,102
8	名古屋城	平山城	梯郭式	外観復元	連結式		6	1,919,479
9	犬山城	平山城	連郭式	現存	複合式	国宝	0	556,544
10	岐阜城	山城	なし	復興	独立式		0	288,590
11	彦根城	平山城	連郭式	現存	複合式	国宝	5	774,720
12	伊賀上野城	平山城	梯郭式	模擬	複合式		0	107,177
13	元龜宮二条城	平城	輪郭式	なし			28	1,904,202
14	大阪城	平山城	輪郭式	復興	独立式		13	2,557,394
15	和歌山城	平山城	梯郭式	外観復元	連結式		1	218,932
16	篠山城	平山城	梯郭式	なし			0	47,648
17	竹田城	山城	梯郭式	なし			0	324,715
18	姫路城	平山城	梯郭式	現存	連結式	国宝	74	2,112,189
19	岡山城	平山城	梯郭式	外観復元	複合式		2	350,324
20	備中松山城	山城	連郭式	現存	複合式	重文	2	106,166
21	松江城	平山城	輪郭連郭式	現存	複合式	重文	0	500,498
22	福山城	平山城	輪郭式	復興	複合式		2	93,793
23	広島城	平城	輪郭式	外観復元	複合連結式		0	333,187
24	岩国城	山城	連郭式	復興	複合式		0	155,393
25	丸亀城	平山城	輪郭式	現存	独立式	重文	2	112,493
26	合治城	平城	輪郭式	模擬	独立式		0	81,277
27	松山城	平山城	連郭式	現存	連結式	重文	20	511,475
28	大洲城	平山城	梯郭式	復元	複合連結式		4	51,792
29	宇和島城	平山城	梯郭式	現存	独立式	重文	0	37,228
30	高知城	平山城	梯郭式	現存	独立式	重文	14	279,097
31	平戸城	平山城	梯郭式	復興	複合式		0	62,683
	熊本城	平山城	梯郭式	外観復元	連結式		13	99,528
32	島原城	平城	連郭式	模擬	独立式		0	127,933
33	首里城	平山城	不明	なし			0	1,886,239

2. 城の類型化

2-1. 立地による城の分類

山城……山の頂部だけを利用して築かれた城。

平山城…低い山に周辺の平地を含めて築かれた城。

平城……平地だけを利用して築かれた城。

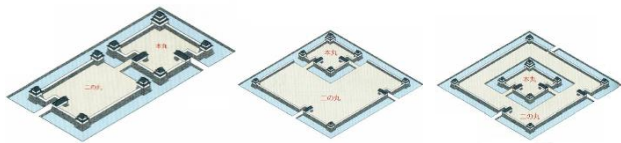
1 : 日大理工・学部・建築 2 : 日大理工・教員・建築

2-2. 曲輪の形式

連郭式…本丸と二の丸を一直線に並べた縄張。

梯郭式…本丸の二方や三方を二の丸が取り囲む縄張。

輪郭式…本丸の四方を二の丸で完全に巻き取った縄張。



連郭式 梯郭式 輪郭式

Fig. 1 曲輪の並べ方
(出典：参考文献[8])

2-3. 天守の構成

独立式…天守だけが単独に建つ形式。

複合式…小天守または付櫓を天守に直結させた形式。

連結式…天守と小天守とを渡櫓で連結した形式。

連立式…中庭を取り囲むように天守と二基以上の小天守または隅櫓を建て、渡櫓で連結した形式。

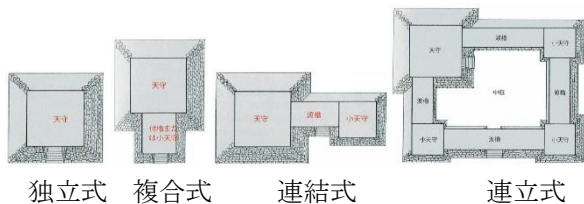


Fig. 2 天守の構成形式
(出典：参考文献[8])

3. 城郭と観光客数の関係

3-1. 立地と観光客数の関係

城の立地を比較すると、山城・平城に比べて平山城が圧倒的に多く、平地にある方が山頂部にあるものより観光客数が多いという結果が出た。これはアクセスの容易さが影響していると考えられる。

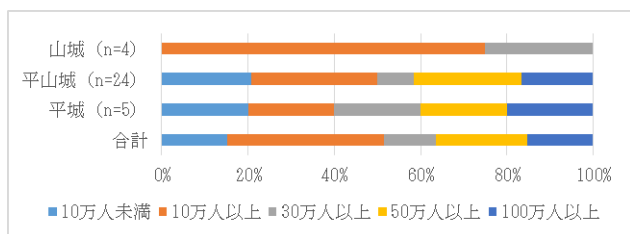


Fig. 3 立地と観光客数の関係

3-2. 曲輪の配置と観光客数の関係

また、曲輪の配置と観光客数を比較すると連郭式、梯郭式、輪郭式の順に観光客数が多くなっている。城の規模も連郭式、梯郭式、輪郭式の順に大きくなって

いる場合が多く^[8]、規模の大きい城郭に観光客数が多いと考えられる。

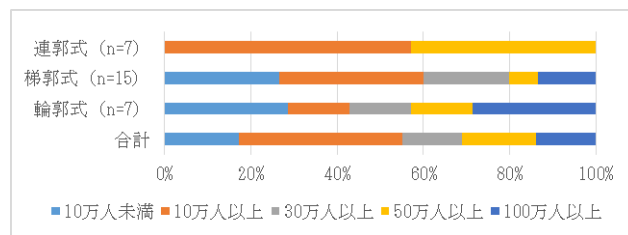


Fig. 4 曲輪の配置と観光客数の関係

3-3. 国指定文化財と観光客数の関係

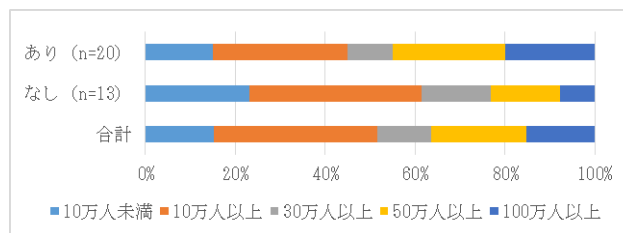


Fig. 5 文化財の有無と観光客数の関係

さらに国指定文化財に指定されている城郭建築物の有無について、文化財指定がある城郭の方がない城郭に比べ観光客数が高いという結果となった。

4. 結論および今後の展望

城郭の形式と観光者数で観光を分析した結果、平地にある規模の大きな城郭、天守の再現性が高い城郭、国指定文化財を有する歴史的価値の高い城郭に観光客数が多い傾向がみられた。

文化財を有する城郭の保存と活用を両立する観光計画が必要であると考えられる。今後は観光動線および観光設備のプロット分析を行い、形式と観光客数の比較だけではわからない観光設備の配置傾向を分析していく。

5. 参考文献

- [1] 文化庁HP「平成 29 年度文化遺産総合活用推進事業について」http://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkazai/joseishien/chiiki_kasseika/h29_sogokatsuyo/ (2017-08-07 閲覧)
- [2] 文化庁HP「平成 24 年度文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業」http://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkazai/joseishien/chiiki_kasseika/h24_kasseika/ (2017-08-07 閲覧)
- [3] 文化庁「国指定文化財等データベース」http://kunishitei.bunka.go.jp/bsys/index_pc.html (2017-09-16 閲覧)
- [4] 児玉幸多・坪井清足監修 (1980)『日本城郭大系』新人物往来社
- [5] 一般財団法人会津若松観光ビューロー「全国城郭管理者協議会加盟城郭一覧」<http://www.tsurugajo.com/turugajo/zenjokyo.html> (2017-08-21 閲覧)
- [6] 公益財団法人日本城郭協会「日本 100 名城」<http://jokaku.jp/japan-top-100-castles/> (2017-09-16 閲覧)
- [7] 全国城郭管理者協議会事務局「城郭総入場者数」
- [8] 三浦正幸 (2016)『城のつくり方図典 改訂新版』小学館